

平成26年度実施事業に対する外部評価

第3回 資料

【日 時】

- | | |
|-----|----------------------------|
| 第1回 | 平成27年9月25日（金）午後5時00分～7時30分 |
| 第2回 | 平成27年9月27日（日）午前9時30分～正午 |
| 第3回 | 平成27年9月28日（月）午前9時30分～正午 |
| 第4回 | 平成27年9月30日（水）午後2時00分～4時30分 |

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

目 次

スケジュール等について P 1 ～ 2

長久手市行政評価の概要 P 3 ～ 4

【第 3 回 外部評価事業説明資料】

広報活動事業（担当課：消防本部予防課） ①

健康づくり推進事業（担当課：健康推進課） ②

スケジュール等について

第1回（9月25日（金）） 会場：市役所西庁舎2階 第7・8会議室

【タイムスケジュール】

時 間	内 容
17:00～17:15	あいさつ、説明
17:15～18:10	「長久手給食食材生産会」の運営支援〔担当課：産業課〕
18:10～18:15	講評
18:15～18:30	休憩
18:30～19:25	共用車・バス・安全運転管理〔担当課：財政課〕
19:25～19:30	講評

第2回（9月27日（日）） 会場：市役所北庁舎2階 第5会議室

【タイムスケジュール】

時 間	内 容
9:30～ 9:45	あいさつ、説明
9:45～10:40	内部監査事業〔担当課：監査委員事務局〕
10:40～10:45	講評
10:45～11:00	休憩
11:00～11:55	道路維持管理業務〔担当課：土木課〕
11:55～12:00	講評

第3回（9月28日（月）） 会場：長久手市エコハウス 多目的室

【タイムスケジュール】

時 間	内 容
9:30～ 9:45	あいさつ、説明
9:45～10:40	広報活動事業〔担当課：消防本部予防課〕
10:40～10:45	講評
10:45～11:00	休憩
11:00～11:55	健康づくり推進事業〔担当課：健康推進課〕
11:55～12:00	講評

第4回（9月30日（水）） 会場：長久手市エコハウス 多目的室

【タイムスケジュール】

時 間	内 容
14:00～14:15	あいさつ、説明
14:15～15:10	市表彰条例による表彰事業〔担当課：政策秘書課〕
15:10～15:15	講評
15:15～15:30	休憩
15:30～16:25	適応指導教室事務〔担当課：教育総務課〕
16:25～16:30	講評

【各事業の外部評価の進行】

所要時間	内 容
15分	業務担当課からの事業概要説明
40分	外部評価委員による事業ヒアリング
5分	まとめ・講評

【外部評価実施者】

長久手市行政改革推進委員会委員

	氏名	所属	実施日
学識経験者	(会長) 和泉 潤	名古屋産業大学教授	9月25日、9月28日
	中島 美幸	愛知淑徳大学講師	9月27日、9月30日
	杉山 知子	愛知学院大学准教授	9月27日、9月28日
企業・団体 関係者	塚田 敏彦	㈱豊田中央研究所	9月25日、9月30日
	下崎 一洋	日東工業㈱	9月28日、9月30日
	江頭 隆行	連合愛知尾張東地域協議会	9月27日、9月30日
	高野 晃二	自治会連合会長・区長会	9月25日、9月28日
公募委員	山口 秋男	公募委員	9月25日、9月28日
	島田 智子	公募委員	9月27日、9月30日

長久手市行政評価の概要

行政評価とは

行政評価とは、長久手市民の福祉の向上及び満足度の高い行政を目指すため、「行政の行っている様々な仕事は、その費用に見合うだけの効果（成果）を出しているのか」、「無駄や重複になっている部分はないのか」、「特定の受益者にかたよっていないか」などといった視点から行政の活動を見直し、事業の進め方を改善していくとともに、実施した事業について、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的とした取組です。

長久手市の行政評価では、業務担当課が自ら行う内部評価と市職員以外の行政改革推進委員による外部評価を実施することとしています。外部評価を実施し、市職員以外の視点からの意見を加えることで、行政評価の客観性と透明性を確保することに努めています。

※外部評価は事業仕分けではありません。

外部評価は、外部の客観的な評価を行い、市職員では気づかない視点を評価に加えることを目的に実施しています。

今後は、内部評価、外部評価による行政評価の結果をもとに、業務担当課が業務改善に努めていきます。

事業の評価

●事業評価

事業の評価は、A から E までの5つの区分で評価し、各区分の評価内容は下記のとおりとなります。

区分	評価内容
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

●「事業規模」の評価について

A から E の区分に沿って事業を改善していくにあたり、事業の規模を、

- ①「向上」
- ②「維持」
- ③「縮小」

のいずれの方向で改善を行っていくかを評価しています。

●「事業費」の評価について

A から E の区分に沿って事業を改善していくにあたり、事業の事業費を、

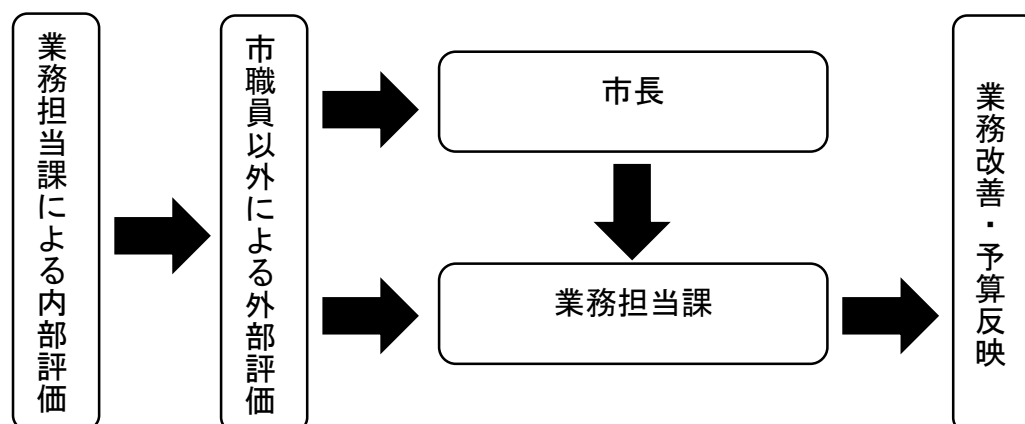
- ①「増加」
- ②「維持」
- ③「削減」

のいずれの方向で改善を行っていくかを評価しています。

今後の活用

外部評価の結果が、そのまま市の最終判断となるものではありません。内部評価の結果も含め、行政評価の結果を市長に報告し、それをもとに業務担当課が業務改善を行い、次年度以降の予算要求に反映させます。

(行政評価イメージ)



予防広報事業
広報活動事業

広報活動事業

【消防本部 予防課】



日時 平成27年9月28日(月) 9時45分から10時45分まで

場所 エコハウス多目的室

 $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$ 

① 事業概要

◆事業の名称

予防広報事業

◆事業を開始した年度

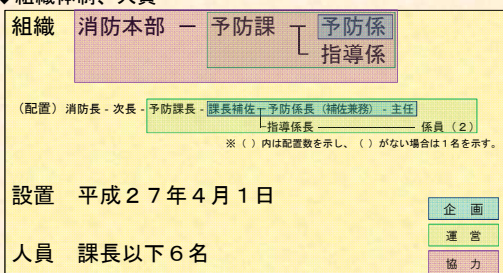


◆事業の概要

長久手市が刊行する広報がなく及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図ることと、火災予防組織を設置し、育成指導を行い幼年期及び少年期の火災予防思想の動機付けを図ること、市民が生涯に亘り火災の予防を学び啓発していくことで、市民の安心で安全な暮らしの推進を図る。

② 事業の実施体制

◆組織体制、人員



③ 事業の対象・意図

◆対象（だれ、何に対して）

長久手市に居住する市民はもとより出入りする市民

◆意図（対象をどのような状態にしたいか）

市民等の火災に対する意識の高揚を図り、火災発生を抑止につなげる。

④ 事務事業の目的・実施結果

◆事業を構成する事務事業

①広報活動事業

◆目的

対象：市内外の住民に

手段：広報ながくて、市ホームページ及び全戸回覧で広報を行うことで

意図：火災予防思想を普及啓発を行い、市民の手による安心で安全な暮らしを確保する。

◆事務事業の実施結果

市広報誌への掲載 8回、全戸回覧 2回

平成26年度中の「広報ながくて」掲載



「広報ながくて、H26.4号」表紙

新生活で火の用心 ◎消防本部 総務課 62-1152

危険物安全週間が始まります!!
HPを見る
◎消防本部総務課 62-1152

お年寄りの防火対策
HPを見る
◎消防本部 62-1152

電気器具は正しく安全に使い
ましょう!!
HPを見る
◎消防本部総務課 62-1152

住宅用火災警報器を設置しよう
◎消防本部総務課 62-1152

長久手市防大作品展
◎消防本部総務課 62-1152

ついて良かった!
住宅用火災警報器
◎消防本部総務課 62-1152

暖房器具を正しく使いましょう ◎消防本部総務課 62-1152 HPを見る 広報ID 8427

平成26年度 全国統一防火標語の掲示



防火意識の高揚を目的に全国公募された標語を市民に対し周知

消防庁会誌側掲示板

防火ちらしの作成



キャラバン事業、消防出初式、花火取扱い教室、敬老事業、防災講習会等において配付。
【2,500部】

家庭への配布

消防写真新聞の掲示



学校等を含む公共施設、大規模な事業所を中心に配布
【100部】

公共施設への配布

全戸回覧の実施



チラシの作成、市政協力員により配布している。
【10・2月】

家庭への配布

⑤ 事業費

【① 広報活動事業】

◆平成26年度決算額

289千円

◆決算の主な内訳

小冊子	106	
ポスター仕訳	107	火災予防運動通知
看板貼替	39	
写真新聞	37	

(単位：千円)

④ 事務事業の目的・実施結果

◆事業を構成する事務事業

② 育成指導事業1

◆目的

対象：市内小学5・6年生に
手段：少年消防クラブを設置し、愛知県消防学校へ一日体験入校、防火作品展の実施することで
意図：少年を介し家庭への防火を推進し、学校における火災の低減を図り、将来の地域防災の担い手となるようにする。

◆事務事業の実施結果

市内6小学校、延応募者 344人

平成26年度長久手市防火作品展

募集部門	応募総数	学 年 別 応 募 数
ポスター	30点	6年生 10点
		5年生 20点
習 字	333点	6年生 214点
		5年生 119点



防火作品展（11/7～14・文化の家）



アビタ長久手市店での展示及び広報活動

応募の状況



入賞作品のポスター化



「広報ながくて」への掲載

愛知県消防学校一日体験入校（7/30）

北小学校児童 34名（6年生30名、5年生4名）、教諭2名、消防職員2名



参加児童の募集



修了証の交付

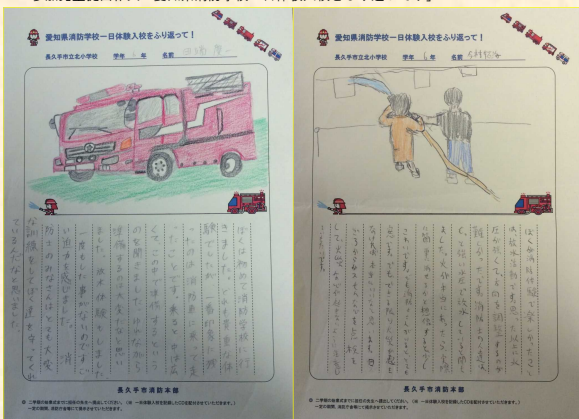


参加児童



入校の様子

参加児童提出作文「愛知県消防学校一日体験入校をふり返って！」



⑤ 事業費 【② 育成指導事業１】

◆平成２６年度決算額

７８千円

◆決算の主な内訳

審査謝礼	15	
ロール紙	13	
展示用台紙	23	防火作品展 6.4千円
表彰状	9	
副賞	4	
負担金	1	県支部負担金 1千円
傷害保険	4	
ノート	4	一日体験入校 1.3千円
軍手	5	

(単位：千円)

④ 事務事業の目的・実施結果

◆事業を構成する事務事業

③ 育成指導事業２

◆目的

対象：市内保育園及び幼稚園に通園する園児に
手段：防火啓発キャラバンを組織し、アトラク
ションや防火講話等を実施することで
意図：幼年期に火災予防思想を根付かせるための
動機付けを行う。

◆事務事業の実施結果

市内８保育園、参加者 １，０６０人



⑤ 事業費

【 ③ 育成指導事業 2 】

◆平成26年度決算額

1千円

◆決算の主な内訳

DVD 1 — 花火取扱い教室 1千円

(単位：千円)

④ 事務事業の目的・実施結果

◆事業を構成する事務事業

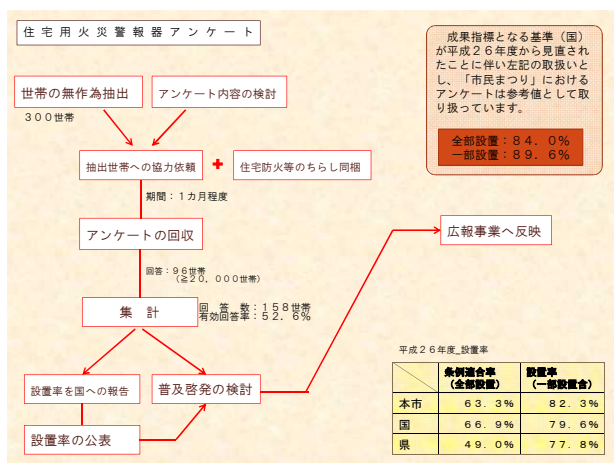
④ 住宅用火災警報器設置促進事業

◆目的

対象：住宅の所有者、管理者又は占有者（住宅の用に供される防火対象物を含む）に
手段：警報器の設置状況を把握するアンケートを行う傍ら設置の促進及び設置後の維持管理について説明を行うことで
意図：住宅用火災警報器を全ての住戸へ設置させる。

◆事務事業の実施結果

市民まつり被調査者 255人、広報掲載 5回



⑤ 事業費 【④ 住宅用火災警報器設置促進事業】

◆平成26年度決算額

0千円

◆決算の主な内訳

—

⑥ 他市町の実施状況

◆近隣市町や先進都市等の状況

瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部（日進市、みよし市、東郷町）の何れの団体においても類似した事業を実施している。

瀬戸市：市広報誌への掲載、ケーブルテレビ及び地元ラジオの取材
尾張旭市：市広報誌への掲載、データ放送の上映
豊明市：市広報誌への掲載、ホームページ上「豊明火災予防NEWS」の発信
尾三：広報誌への掲載、ケーブルテレビ「防災チャンネル」の取材

◎ 国が推進する啓発事業を中心に広報活動を実施している。
先方のアプローチによりケーブルテレビ等のマスメディアの活用している。

⑦-1 事業の成果

①広報活動事業

◆事業の成果指標

市広報誌述べ配付世帯数

◆成果指標の設定理由

広報誌への掲載回数よりも、どの位の市民が閲覧したかを計上した方が容易に把握できるため。

⑦－２ 事業の成果

①広報活動事業

◆事業の成果目標

256,000世帯

◆成果指標の目標値設定の根拠

前年実績（平成25年度）からの増加

⑦－３ 事業の成果

①広報活動事業

◆事業の成果実績

171,000世帯

◆事業の評価（評価、事業規模、事業費）

B、拡充、増加

◆評価の説明

事業の改善

⑦－４ 事業の成果

①広報活動事業

◆過去の評価状況

○平成25年度事業

評価：B 改善内容（B以下の場合）：事業の改善

○平成24年度事業

評価：B 改善内容（B以下の場合）：事業の改善

○平成23年度事業

評価：— 改善内容（B以下の場合）：—

⑧ 今後の予定

①広報活動事業

◆事業の改善内容等

掲載内容について、前年度から引き続き火災予防及び住宅用火災警報器の設置促進だけでなく、
①新たな切り口と②時世に適した記事を市民に提供できるようにする。

例) ① 新たな切り口

- ・住宅用火災警報器の維持管理
- ・住宅用火災機器の普及啓発

② 時勢に適した記事

- ・世代（お年寄り、子ども）を考慮した防火対策
- ・季節特有の火災事故（夏：電気器具・冬：暖房器具）
- ・社会的影響を及ぼす火災（ゲルマニウム火災・病院火災・花火大会事故）
- ・市内で発生した火災事故等

⑧ 今後の予定

[予防広報事業]

◆事業の改善内容等

【総括】

予防広報事業を構成する各種事業は平成23年度から段階的に事業化し、関係者（保育園、小学校等）から新たな取り組みについて高評価を得ているものの、結果が「事業の改善」となっている。

これは偏に新規事業であるが故の作り込みの甘さが結果の表れといえる。

よって、次年度以降は事業をさらに検証し、事業の充実を図ることとします。

ご清聴ありがとうございました。

長久手市行政評価票

1

事業番号	112	事業の名称	予防広報事業				担当部署	部	課					
							消防本部	総務課						
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち		分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(3)火災予防対策の推進		フラッグ		フラッグ項目				
事業の概要	長久手市が刊行する広報ながくて及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図ることと、火災予防組織を設置し、育成指導を行い幼年期及び少年期の火災予防思想の動機付けを図ることで、市民が生涯に亘り火災の予防を学び啓発していくことで、市民の安心で安全な暮らしの推進を図る。					他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。							
事業期間	事業開始年度		—		終了(予定)年度		—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市に居住する市民はもとより出入りする市民													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民等の火災に対する意識の高揚を図り、火災発生の抑止につなげる。													
						総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
							うち	一般財源	342	326	330	368		603
								国費・県費	342	326	330	368		603
								地方債						
								その他						
							受益者負担額							

事業を構成する 事務事業		対象 (だれ、何に 対して)	目的				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
			手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～						成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H26決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H26実績			H26予算			事業規模	
										H26目標値			H27予算			事業費	
①	広報活動事業	市内外の住 民に					火災予防思想を普及 啓発を行い、市民の 手による安心で安全 な暮らしを確保する。	延広報掲載 回数 8回 全戸回覧数 2回	市広報誌延配布 世帯数	回	前年実績(平成25 度)からの増加	230,000	249	275	B	事業の改善 掲載内容について、前年度から引き続 き火災予防及び住宅用火災警報器の 設置促進だけでなく、新たな切り口と時 世に適した記事を市民に提供できるよ うにする。	
												171,000	249	289			
												256,000	442				
②	育成指導事業1	市内小学5・ 6年生に					少年を介し家庭への 防火を推進し、学校 における火災の低減 を図り、将来の地域 防災の担い手となる ようにする。	6小学校 延応募者数 344人	全対象児童のう ち、応募した児 童の割合	%	平成24年度から新規 事業としているため、 対象児童の3分の1 以上を目標	31.9	36	37	B	事業の改善 平成24年度から新規事業として立ち上 げ防火・防災意識の向上を図っており、 参加する学校等からは好感触を得てい る。 また、今年度より全校から防火作品の 応募があり、今後はより多くの児童が火 災予防に関心が持てるような企画を策 定する。	
												28.7	67	78			
												35.0	144				
③	育成指導事業2	市内保育園 及び幼稚園 に通園する 園児に					幼年期に火災予防思 想を根付かせるため の動機付けを行う。	8保育園 参加者数 1,060人	防火講話に参加 した園児数	人	市内保育園及び幼 稚園へ通園する園児	972	0	0	B	事業の改善 平成25年度から新規事業として立ち上 げ、消防署と協力し、幼児期における火災 予防の教育が実用的となり、効果的な事業 展開を行うことができたが、その調整等に多 大な時間を要したことから計画数を処理する ことが出来なかった。 長久手市危険物安全協会の協力を得て、 これまでどおり事業費を掛けずに実施する。	
												1,060	0	1			
												1,853	0				
④	住宅用火災警報器 設置促進事業	住宅の所有者、 管理者 又は占有者 (住宅の用 に供される 防火対象物 を含む)に					住宅用火災警報器を 全ての住戸へ設置さ せる。	市民まつり 調査者数 255人 広報掲載回 数 5回	「住宅用火災警 報器設置推進基 本方針」に基づく 住宅用火災警報 器の普及率	%	前年実績(平成25年 度)から3%の増加	84.0	57	14	B	事業の改善 アンケートを中心に市民と対面し、住 宅用火災警報器の設置及び維持管理 等だけに止まらず住宅用防災機器等 の設置についても普及促進に努めた。 また、当該年度から従来の調査方法 に加え新たな調査を実施した。(※)	
												84.0	14	0			
												87.0	17				

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	④	住宅用火災警報器設置促進事業	成果指標を「住宅用火災警報器設置推進基本方針」に基づく住宅用火災警報器の普及率」の調査手法が「住宅用火災警報器設置状況調査方法について(平成26年1月10日付け消防予第2号)」の見直しに伴い実績値を変更します。(※)		花火取扱い教室	平成26年度に試行した事業[実績:市内児童館6館、252人] 市内児童館を利用する児童(保護者引率の乳幼児を含む)を対象に花火の正しい取扱い方法を学ぶ中、火遊びの注意喚起等を行い少年期の火災予防思想の普及を図る。

健康づくり推進事業

～健康講座と「元気の出る体操」～

① 事業概要

◆事業の名称

健康づくり推進事業

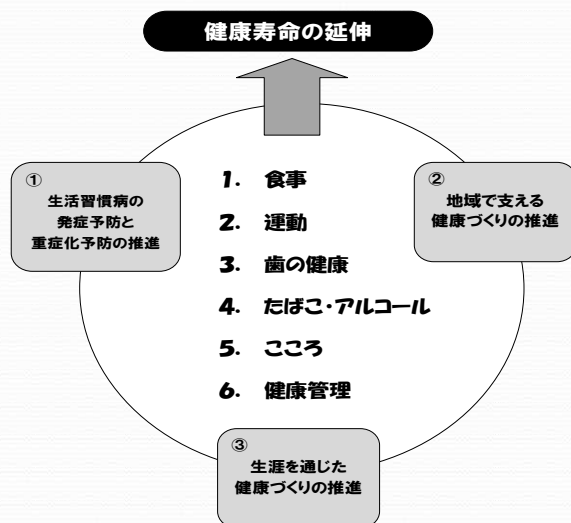
◆事業を開始した年度

平成17年度（健康づくり計画〈第1次〉）

◆事業の概要

平成25年度に策定した「長久手市健康づくり計画〈第2次〉」に基づき、「健康講座」や「元気の出る体操」の普及により市民による健康づくり事業を推進していく。

長久手市健康づくり計画（第2次）施策の体系



② 事業の実施体制

◆組織体制、人員

(1) 組織体制

健康推進課 健康推進増進係 係長以下4人

(2) 人員（健康づくり事業）

① 健康講座

保健師2人（交代）

② 「元気の出る体操」DVD長久手版普及

保健師1人

* 長久手すこやかメイト及び食生活改善推進員と連携

③ 事業の対象・意図

◆対象（だれ、何に対して）

長久手市民

◆意図（対象をどのような状態にしたいか）

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できるように、自らの健康の増進と予防への取り組みをする人を増やし、市民の健康寿命を延伸させる。

④－１ 事務事業の目的・実施結果

◆事業を構成する事務事業

健康講座５回

(1)姿勢改善講座 (2)アロマ講座 (3)元気になれる懐メロ講座 (4)笑っていきいき元気講座 (5)食の講座

◆目的

健康づくり計画〈第２次〉に基づき市民に健康について関心を持つようにするため

◆事務事業の実施結果

健康講座５回 １３６人（１回あたり２７人）

*すこやかメイト及び食生活改善推進員を除く

健康講座アンケート結果

	満足度					講座参加者
	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	回答なし	
姿勢改善講座	22	3	0	0	1	26
アロマ講座	12	7	0	0	0	19
元気になる懐メロ講座	12	8	1	1	0	22
笑っていきいき元気講座	39	10	0	0	0	49
食の健康講座	17	2	0	0	1	20

④－２ 事務事業の目的・実施結果

◆事業を構成する事務事業

「元氣の出る体操」DVD撮影のための参加者の練習講習会

◆目的

「元氣の出る体操」を普及することで、健康づくり計画〈第2次〉の「今後の方向性である「ロコモティブシンドローム予防と認知度向上」を目的とする。

◆事務事業の実施結果

DVD撮影のための体操練習の参加者146人

⑤ 事業費

◆平成26年度決算額 291,000円

◆決算の主な内訳

(1)健康講座

67,000円（5講座分）

(2)体操の啓発及び指導等委託

224,000円

*別途DVD製作費896,400円

◆平成27年度予算額 520,000円

⑥ 他市町の実施状況

◆近隣市町や先進都市等の状況

(1)健康講座

日進市（こころの講座等）

豊明市（大学連携講座）

瀬戸市、尾張旭市、東郷町は、なし。

(2)健康体操

瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町は、個別
の健康体操を普及。

豊明市は、なし。

⑦ー１ 事業の成果

◆事業の成果指標

講座等で参加した受講者の人数

◆成果指標の設定理由

普及啓発活動として実施しているので、多くの市民の参加人数とする。

⑦ー２ 事業の成果

◆事業の成果目標

健康講座（５講座）の参加人数を１講座で３０人以上とする。

◆成果指標の目標値設定の根拠

講師と講座の内容の事前の調整により、当初の健康講座の定員を３０人としていたので、定員の人数とした。

⑦ー２ 事業の成果

◆事業の成果目標

「元気の出る体操」長久手版DVD撮影のために市民の練習会を開催。多くの市民の参加者を集めて撮影するために、練習の参加者150人を目標とする。

◆成果指標の目標値設定の根拠

市民の撮影場所を3ヶ所とした、撮影に必要な人数を1ヶ所50人×3ヶ所＝150人

⑦ー３ 事業の成果

◆事業の成果実績

健康講座5回136人（1回あたり27人）
DVD撮影のための体操練習の参加者146人
（撮影参加者315人）

◆事業の評価（評価、事業規模、事業費）

評価：B 事業規模：維持 事業費：増加

◆評価の説明

健康講座では、1回あたり平均参加者は目標の90%程度であり、参加者アンケートで好評を得るなど一定の成果はあった。ただ、講座によって参加者数が少ない講座もあった。「元気の出る体操」は、DVD撮影に多くの市民に参加いただき、当初の成果目標は概ね達成された。

⑦ー４ 事業の成果

◆過去の評価状況

○平成２５年度事業

評価：Ｂ 健康づくりを推進する人を更に増やしていく。

○平成２４年度事業

評価：Ａ 市全体として健康づくりに取り組む。

○平成２３年度事業

評価：Ｂ 計画の方向性について、平成２５年度予算要求の際に、市民アンケート、実態を把握して、計画最終評価に向けて準備する。

⑧ 今後の予定

◆事業の改善内容等

健康講座は、市民に参加してもらうように、チラシの作成や講座のサブタイトル等で講座に興味を持ってもらうようにする。

「元気の出る体操」については、市民による体操の普及を目指すために、体操の指導者の育成を目指す。また、小学校で準備運動としての利用してもらうように努める。

（平成２７年度から市内全ての小学校区の運動会で利用）

長久手市行政評価票

事業番号	91	事業の名称	健康づくり推進事業				担当部署	部 福祉部	課 健康推進課																	
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち		分野別項目	(13)住民の健康づくりを支える	施策の進め方	(1)住民主体の健康づくり事業の推進	フラッグ			フラッグ項目																
事業の概要	平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、健康講座等や「元気の出る体操」の普及により市民による健康づくり事業を推進していく。					他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21(第2次)市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。																			
事業期間	事業開始年度	平成26年度		終了(予定)年度	平成35年度		総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table><tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr><tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr><tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr><tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr><tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr><tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr></table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																										
A	現行どおり実施																									
B	事業の改善																									
C	他事業と統合																									
D	運営主体の見直し																									
E	事業の廃止の検討																									
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	110	40	370	291	520														
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	健康づくりを推進する。					国費・県費																				
						地方債																				
						その他																				
							受益者負担額	0	0	0																

事業を構成する 事務事業		対象 (だれ、何に 対して)	目的				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
			手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
												H26実績	H26決算		事業規模		
												H26目標値	H27予算				事業費
①	健康づくり事業	市民に	●●●●●●●●●●●●●●●●				5回の健康講座や「元 気の出る体操」DVD撮 影のための練習参加者	講座等で参加した 受講者の人数	21	人	健康講座1回あたり3 0人の参加者とDVD 撮影のための体操の 練習の参加者150人 を目標とする。	110	40	健康講座5回分 健康教育講師等報 償金67 体操の練習用 体操の啓発及び指導 等委託224	B	撮影のための市民の練習会を開催し、 市民の参加による「元気の出る体操」 DVDを制作するという目的は達成した が、市民による普及するという目的に は、至っていない。健康講座でも30人 の受講生を満たしていない講座もあっ た。	
			282	370	291												
			300	520		維持											
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	①	健康づくり事業	元気の出る体操について、H26年度は職員及びすこやかメイトによる推進及び普及が主であったが、市民による普及を目的として体操の指導者の講習会を開催し、市民から普及させていくように改善していく。			